

[ 解答 ]

ア 誤 ウェゲナーは自分の仮説の正しさを証明するために様々な証拠を探している。たとえば、メガロザウルスという恐竜の化石がブラジルとアメリカで発見されていること、氷河堆積物の分布が、大陸がかつて1つだと考えると整合することなのである。しかし、それにも関わらず、当初全く支持されなかった。

イ 正 極移動曲線とは、岩石に残された地球のN極、S極の方向を示す曲線である。これは現在の極の方向を向かず、ばらばらになっている。これも大陸移動説の根拠となっている。

ウ 正 海洋底拡大説とは、海嶺から地殻が発生し、海溝へ沈んでいるのではないかとする仮説である(プレートテクトニクスより古い説で、簡単にその一部と考えてもよい)。もともとは海底地形などから提唱された説であったが、地磁気縞模様の対称性が、この説と、地磁気が時代ごとに反転していたことを使うと説明できることが有力な証拠とされた。

エ 誤 プレートテクトニクスでは、プレートは変形しない固い岩盤(リソスフェア)と考えられている。そして、それが柔らかい岩盤(アセノスフェア)の上を移動していると考えられている。

肢4

---

[ ポイント ]

大陸移動説からプレートテクトニクスにかけての知識問題で、高校地学の基礎知識程度です。特にエのプレートテクトニクスに関する知識は基礎中の基礎と言えますので、ここで3択に絞るべきでしょう。後は結局知っているかどうかの問題です。